

氏名 _____

令和8年3月4日実施 中部運輸局

法令試験問題

解答用紙

問 1

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35	

問 2

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

令和8年3月4日 中部運輸局法令試験問題

問1. 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答用紙に記入してください。

1. タクシー業務適正化特別措置法の単位地域内の個人タクシー事業者は、事業者乗務証を他人に譲り渡し、又は貸与してはなりません。
2. 個人タクシー事業の許可期限の更新申請書には、自動車安全運転センターが発行する運転記録証明書を添付すれば自動車運転免許証の写しの添付の必要はありません。
3. 一般乗用旅客自動車運送事業者は、12歳未満の小児だけの旅客を運送することはできません。
4. 事業者は、休止している事業を再開した場合は、遅滞なく届け出なければなりません。
5. 業務記録の保存期間は6ヶ月間となっています。
6. 身体障害者補助犬及びこれと同等の能力を有すると認められる犬並びに愛玩用の小動物をタクシー車内に持ち込む旅客に対しては、運送の引受けを拒絶することができます。
7. 整備工場への運行等、旅客の運送を目的としない場合には、年齢、運転の経歴その他政令に定める要件を備えた者でなくてもタクシーを運転することができます。
8. タクシー事業者は、正当な理由がないのに許可又は認可を受けた事項を実施しない場合、自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止若しくは事業の停止を命じられ、又は許可を取り消されることがあります。
9. 自動車点検基準に規定する日常点検基準においては、タクシー車両のブレーキは、1ヶ月に1回点検を実施しなければならないこととなっています。
10. 自動車には、国土交通省令の定めにより検査標章が表示されていれば、自動車検査証を当該自動車に備え付ける必要はありません。
11. 一般乗用旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合、事故の記録をしなければなりません。

12. 道路運送法の規定により運賃及び料金の割り戻しは禁止されていますが、事業主でもある個人タクシー事業者の場合は適用除外となっています。
13. 期限更新日において年齢が満65歳以上の個人タクシー事業者であっても、当該期限更新の申請前1年以内に公的医療機関等の医療提供施設において健康診断を受診した場合には、旅客自動車運送事業運輸規則に定めるところによる高齢者に対する適性診断を受診する必要はありません。
14. 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受をしようとするときは、道路運送法に規定する手続きを行わなければなりません。
15. 旅客自動車運送事業運輸規則では、個人タクシー事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受けたときは、いずれの者に対しても、遅滞なく弁明しなければならないと規定されています。
16. 個人タクシー事業者は、タクシーを運転中に自動車転覆・転落する事故を引き起こした場合であっても、死者又は重傷者が生じていなければ自動車事故報告書を提出する必要はありません。
17. 一般乗用旅客自動車運送事業の標準運送約款には、天災により運行を中止したことによって旅客が受けた損害について、事業者には賠償責任がないことが規定されています。
18. 事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければなりません。
19. 営業区域内にある自宅を主たる事務所及び営業所としていた個人タクシー事業者が、当該自宅を増築した場合、主たる事務所及び営業所の位置に変更がなくても広さが変更となったので、事業計画変更の手続きが必要です。
20. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に応急修理のために必要な器具及び部品を備えなければ、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供してはなりません。運送の途中において当該事業用自動車に故障が発生した場合に、旅客の運送を容易に継続することができる場合は、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供することができます。
21. 個人タクシー事業の許可を受けた者が、運賃及び料金の設定の認可申請をしようとする場合、当該認可申請書には設定を必要とする理由を記載しなければなりません。
22. タクシー運転者は、業務の開始時及び終了時において走行距離計に表示されている走行距離の積算キロ数を業務記録に記録しなければなりません。

23. 旅客自動車運送事業者は、安全、確実かつ迅速に運輸を遂行するように努めなければなりません。
24. 個人タクシー事業を営むためには、道路運送法に規定されている一般乗用旅客自動車運送事業の許可を受けなければなりません。
25. 一般旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業等報告規則の規定により「事業報告書」及び「輸送実績報告書」を提出しなければなりません。個人タクシー事業者は「輸送実績報告書」のみ提出すればよいこととなっています。
26. 旅客自動車運送事業等報告規則の規定において、事業報告書及び輸送実績報告書には、それぞれ提出期限が定められています。
27. 個人タクシー事業者の自動車車庫について、その位置に変更がないものの、収容能力が5㎡大きくなりました。この場合、事業計画変更の手続きは必要ありません。
28. 一般乗用旅客自動車運送事業の運送約款には、少なくとも運賃及び料金の收受並びに事業者の責任に関する事項が明確に定められていなければなりません。
29. 道路運送法には運送の引受義務が規定されていますが、タクシー事業者は認可を受けている運送約款（標準運送約款と同一の運送約款を定めているときは、当該運送約款）によらない運送の申込みを受けた場合には、当該運送の引受けを拒絶することができます。
30. 自動車の使用の本拠の位置に変更があった場合、道路運送車両法の規定に基づく変更登録の申請をしなければなりません。
31. 個人タクシー車両には、運賃及び料金に関する事項を公衆及び事業用自動車を利用する旅客に見やすいように表示しなければなりません。
32. 事業者が、道路運送法第13条（運送引受義務）に違反したときは、1年間自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止を命ぜられることがあります。
33. タクシー運転者が、事業用自動車を運行中、当該自動車の重大な故障を発見し、又は重大な事故が発生するおそれがあると認められたときは、直ちに、運行を中止しなければなりません。
34. 個人タクシー事業者は、タクシー車両を常に清潔に保持するほか、毎月少なくとも1回清掃して、その旨を業務記録に記録しなければなりません。

35. 営業区域内でタクシーに乗車した旅客の依頼によって営業区域外で他の旅客を同乗させて、営業区域外の着地まで運送した場合は、道路運送法違反になります。

問2. 次の法令条文の（ ）にあてはまる言葉を下のア～ソの中から選び、カナを解答用紙に記入して下さい。

旅客自動車運送事業運輸規則第2条（一般準則）

旅客自動車運送事業者（旅客自動車運送事業を經營する者をいう。以下同じ。）は、安全、確実かつ迅速に運輸を遂行するように努めなければならない。

2 旅客自動車運送事業者は、旅客又は（ ① ）に対して、公平かつ（ ② ）取扱いをしなければならない。

旅客自動車運送事業運輸規則第19条（事故による死傷者に対する処置）

旅客自動車運送事業者は、（ ③ ）により、旅客が死亡し、又は負傷したときは、次の各号に掲げる事項を実施しなければならない。

- 一 死傷者のあるときは、すみやかに（ ④ ）その他の必要な措置を講ずること。
- 二 死者又は重傷者のあるときは、すみやかに、その旨を（ ⑤ ）に通知すること。
- 三 遺留品を保管すること。
- 四 前各号に掲げるもののほか、死傷者を保護すること。

ア 天災その他の事故	イ 最寄りの警察署	ウ 公正な	エ 適切な
オ 救護	カ 運転者の故意又は過失	キ 公衆	ク 懇切な
ケ 付添人	コ 運行の中断	サ 運送の申込者	シ 応急手当
ス 自らの責	セ 地方運輸局長	ソ 家族	

令和8年3月4日実施 中部運輸局

法令試験問題模範解答

※ この模範解答は運輸局が公式に発表したものではなく、日個連東京都営業協同組合組織維持対策課にて判断・作成したものです。運輸局の見解とは異なる場合もあり得ますので、予めご了承下さい。

問 1

1	○ 特施34	2	× 期限更新	3	× 規定なし	4	○ 運施66	5	× 輸25
6	× 輸13+52	7	○ 運25	8	○ 運40	9	× 点検別表	10	× 車66
11	○ 輸26-2	12	× 運10	13	× 期限更新	14	○ 運36	15	× 輸3
16	× 事故2+3	17	○ 約款9	18	○ 運16	19	× 運15ほか	20	○ 輸43
21	× 運施10-3	22	○ 輸25	23	○ 輸2	24	○ 運4	25	× 報告2
26	○ 報告2	27	× 運15ほか	28	○ 運11	29	○ 運13	30	○ 車12
31	○ 輸4	32	× 運40	33	○ 輸50	34	× 輸25+44	35	× 運20

問 2

①	キ	②	ク	③	ア	④	シ	⑤	ソ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

■ 29、33 は新型設問です。